

朝日生命成人病研究所附属医院に通院中の皆様へ

診療記録を利用した後ろ向き観察研究への協力をお願い

研究課題：2型糖尿病患者の血糖降下薬の使用と消化管がん発症の関連についての探索的研究

【研究の背景・概要】

2型糖尿病患者では消化管がんのリスクが増加しているとされ、糖尿病治療薬と消化管がんの発症リスクについても多くの研究がなされています。血糖降下薬と消化管がんの発症との関係についてはわからないこともまだ多く、過去の血糖降下薬の種類によっても結果が異なっていて、消化管がんを減らすという報告や影響しないという報告があります。そこで今回、血糖降下薬について、消化管がんとの関連性を調べることにしました。この研究では、血糖降下薬の使用後に消化管がん発症が遅くなったり早くなったりするかを明らかにすることで、新たな薬剤選択の方法を検討することとします。

【対象となる方】2000年～2022年の間に朝日生命成人病研究所附属医院を初診した2型糖尿病の方

【研究方法】この研究は、朝日生命成人病研究所の倫理審査委員会の承認を受けて実施するものです。

対象者：2000年から2022年に朝日生命成人病研究所附属医院を受診した2型糖尿病患者です。

調査項目：カルテにある以下の様々な情報を取得します。性別、病名、糖尿病の経過、消化管病を含む過去の病気に関する既往、血液検査結果、内視鏡検査などの他の検査結果、治療に関連する情報

【研究機関名および研究責任者氏名】

研究機関 朝日成人病研究所附属医院 糖尿病代謝科 研究責任者 菊池貴子

共同研究機関 明治薬科大学 教授 櫛山暁史 赤沢学

五十嵐千都 神山奈子 山口知紗 五藤由奈 高橋雅弘

【研究期間】朝日生命成人病研究所附属医院倫理委員会承認後～2026年3月31日

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集されるデータなどは外部漏洩がないように慎重に扱います。診察券番号、氏名、住所、生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたにも分からないようにした上で、個人情報管理担当者にのみ使用できるパスワードロックをかけた別媒体で厳重に保管します。ただし、必要な場合には当研究室に置いてこの符号を元の氏名に戻す操作を行うことはできます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は下記の研究事務局までご連絡ください。

研究結果は、個人が特定できない形式により学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。

問い合わせ先 朝日生命成人病研究所 連絡担当者：菊池貴子

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-2-6

[TEL:03-3639-5501](tel:03-3639-5501)、[Fax : 03-3639-5520](tel:03-3639-5520)